

6月8日(木)  
投資のベースキャンプ

ゲスト: 馬淵 治好さん  
(ブーケド・フルーレット代表)

# 2022年の上半期を振り返ろう

- ① ロシア・ウクライナ情勢、それによる欧米各国の経済制裁
- ② 原油高騰に伴い、エネルギー価格の上昇
- ③ 円安 (対米ドル 1ドル = 134円)
- ④ 世界的なインフレ
- ⑤ 欧米が金融緩和から金融引き締めへ  
→ 金利引き上げを実施



世界的に株価下落... 日本市場も乱高下

★ 数値で見る「日米主要株式指数」の推移

指数	株価	下落率
ダウ平均株価	33,180.14	↓9.31%
S&P 500	4,160.68	↓13.26%
ナスダック総合指数	12,175.23	↓23.10%
日経平均株価	28,175.73	↓3.84%
東証株価指数	1,966.77	↓3.13%

「日本株が底堅い」  
→ 日本株が強い理由

- ・ 企業業績が◎
- ・ 内部留保で現預金がある
- ・ 円安、輸入企業に恩恵
- ・ 金融緩和政策維持で株価安定

「実は日本株は弱くない!!」

世界と比較した時、日本企業の強みが見えてくる。

by グローバルファイナンシャルスクール 市川 雄一郎 校長

## 「ペントアップデマンド」

「抑圧」「押し付け」「需要」

景気後退期に購買行動を  
一時的に控えていた消費者の需要が  
一気に回復すること。

◎ 世界全体の2割弱が米の個人消費

米の雇用統計 (雇用は消費をみる上で重要)

→ 雇用者数はコロナ前まで戻っていない / 総賃金がコロナ前より2割ほど上昇

雇用と消費から  
今後の動向が  
見えてくる...

家計貯蓄率が積みあがってる  
(コロナ前10%以下) → (コロナ後一時35%弱)

既に取り崩しが始まっている!? (ペントアップデマンド)  
(現在5%前後まで減少)

まとめ 個人消費拡大に伴い、マーケットも悲観から回復へ...